

「学校部活動の地域展開に係る方針(案)」に対する学校ヒアリング結果について  
(一部抜粋)

2. 本市における学校部活動の地域展開に係る基本方針について (P.4)

<方針全般について>

- ・基本方針については概ね理解できる。
- ・基本的な考え方として、学校と地域の実情に応じた地域展開は進んでいくものと考えておりますので、この方針の通りが良い。
- ・基本方針については、内容を理解できました。まずは、休日の活動から地域展開を目指すという所、可能であれば進んでいくことが理想的であると思う。
- ・学校や地域の状況も学校の数だけ異なる中で、細かい方針が出れば出るほど現場の動きを鈍化させるような気がしています。
- ・改革実行期間以降、休日において地域クラブ活動に転換できるかどうか。また、部活動指導員や地域指導者の受け皿が、そもそもあるのか疑問である。
- ・松江市として考える地域展開(活動目的、理念、活動時間、休養日、参加費、指導体制、安全確保、移動手段、運営体制、学校との連携等)の具体や方向性を示していただくことを検討いただきたい。
- ・地域展開が可能な学校(地域)と難しい学校で教職員の働き方等が大きく異なることになるが、そのアンバランスをどう解消するか。

<休日・平日および条件付きの部活動の実施継続について>

- ・平日の部活動を地域移行することは現状では課題が多いが、休日の部活動については可能な範囲で地域移行を進めていくと良い。運営の主体が平日と異なるが、生徒の参加の枠組みについては検討が必要である。
- ・休日と平日を分けて考えることは、難しいのではないかと。教員と地域指導者の共通理解が今まで以上に必要だと思えます。
- ・神戸市のように「土日の部活動は行わない」と市で統一してもらった方がよい。土日に部活動がある学校へは教員は異動した方がよい。
- ・「当面の間…学校部活動として実施することも可能」では、地域展開は進みにくいと思われる。教職員等の指導の下であっても休日の部活動は原則地域クラブ活動とする、などもう一歩踏み込む必要はないだろうか。
- ・教員の働き方改革という点では、当面部活動としての対応もあるとされていることには抵抗がある。

### 3. 地域展開に向けた取組計画について (P.5)

#### <取組計画全般について>

- ・R12 開催の国スポ・全スポに向けた県の方針は無視できないため連動する必要がある。
- ・主な取組内容が抽象的すぎる。より具体的な内容の明記が必要ではないか。
- ・R13 までの具体的なゴールを明確にしてはどうか。
- ・市の基本方針が固まったところで、学校の方針や具体的な取組の検討を進めるスケジュールを早目に、時期的なことも考慮して提示してほしい。
- ・協議会の構成委員については、地域の誰を選任するのか明記すると良い。

#### <学校ごとの協議会の設置について>

- ・必要に応じて設置とあるが、設置基準はあるか。(人数、役職) 地域エリアや近隣の中学校が合同でつくることも可能か。
- ・協議会での協議内容は、年度ごとのスケジュール or 年度ごとの到達ラインがしめされると学校は判断しやすい。
- ・協議会を設置する上では、松江市としての具体的対応方針(人的支援、指導者確保、財政支援、人材バンクの内容等)を示していただくと検討や協議が行いやすくなる。
- ・学校運営協議会での対応は難しいと考える。地域のスポーツ協会やスポーツ少年団指導者など、部活動に近い関係の方々の参画が必要と考える
- ・学校の部活動を存続する方向であれば、理解できる計画であるが、そのために、協議会の設置等、学校の負担がさらに増えると思われる。
- ・学校単位での協議会等の設置の必要性は薄いのではないか。市の協議会が取組を主導し、市としての方針が早期に明確化されることが各校の部活動→地域クラブ活動の移行には重要だと考える。
- ・場合によっては、協議会の立ち上げが地域展開の進行を妨げることにもつながりかねない。
- ・「学校における協議会の設置」は明記する必要はないと考える。

#### 4. 地域展開に向けた役割分担について (P.6～7)

##### <役割分担全般について>

- ・各団体の役割分担は整理され、わかりやすい内容となっているが、学校としては、例えば「人材バンクの構築」は、市のどの部署が担当で、いつまでにどのような形態でいつまでに、どうやって組織され、登録状況は何時頃にわかるのかなど整理いただくと良い。
- ・地域クラブが自走できるところまでの地図を描き、道をつけ、走らせるかについての記述が不明瞭。学校と行政が押し合いになることを避けるため、明示されているとよい。

##### <指導者の確保について>

- ・人材バンクも教員の登録が必須なような気がする。
- ・指導に長けた人材が各地域にいると思われるが、学校から個人レベルでお願いすることはせず、市から部活動指導員、部活動地域指導者に登録してもらうよう働きかけるということなのか。役割分担には明記していないが、学校が探した地域人材を全て保護者負担にすると不公平感が生じるのではないか。
- ・教員が部活動指導をやるのが当然という現状を改めてほしい。意欲がある教員が、学校以外の活動で力を発揮できる制度を検討してほしい。その際、教員の身分、管理責任等も確認してほしい。

##### <松江市中学校部活動ガイドラインの見直しについて>

- ・地域移行と並行して、『松江市中学校部活動ガイドライン』の規定についても柔軟な改定が必要であると考え。完全な地域展開が実現するまでの移行期間においては、平日や休日の部活動実施時間の見直しを行い、教員の負担軽減を図る必要があると考える

##### <関係者への周知について>

- ・地域移行に係る保護者負担増があれば、保護者の理解は得られないのではないかと考える。

### <自校の部活動の在り方の検討について>

- ・学校における部活動の在り方検討(部活動をなくしていくこと)は、学校側のニーズのみで生徒や保護者のニーズがなければ難しい。
- ・これまでの部活動再編などの難しさから考えるとあり方検討は非常に難しいと思う。
- ・近隣地域を含めた活動可能な種目がはっきりした上で検討できると思われるので、そのための「学校・地域団体との連絡調整」が重要になると考える。ただ、この会の開催期日・回数があり負担にならないように配慮いただきたい(長期休業中の平日の日中開催等)。
- ・学校によっては、今後部活動数を絞る所もある。地域移行によって、児童生徒が在籍している地域では、できなかった種目の体制が整うと、児童生徒の選択肢が増える。小規模校においては校区を越えた圏域における検討が必要で、その調整の役割を松江市担当課で担うことが望ましい。早期にモデル校等で展開できることを期待する。

### その他

- ・基本方針の中に、教員の働き方改革という視点を明確に位置づけていただきたいと考えます。地域展開の目的の一つに教員の業務負担軽減がある以上、制度設計においてもその観点を重視していただくことが望まれます。
- ・子どもや保護者の意向について触れていない。
- ・子どもや保護者の意向(ニーズ)が取れていない状態で見通しを持つのは難しいのではないかと。
- ・部活動の地域展開に関する制度設計にあたっては、児童生徒へのアンケートだけでなく、教員・保護者・地域指導者の声を反映できるフィードバック体制の整備を希望します。現場の声を丁寧に拾い上げることで、より実効性のある制度設計が可能になると考える。いつまでに、何をゴールにするのか早急に示していただきたい。そうでないと話が進まないように感じる。